

2015年3月期第2四半期 決算説明会



写真：開発研修センター

2014年11月21日

デンヨー株式会社

目 次

I . 2015年3月期第2四半期決算の概要

取締役常務執行役員管理部門長 白 鳥 昌 一

II . 2015年3月期通期の見通しと今後の経営方針

代表取締役社長 古 賀 繁

2015年3月期 第2四半期決算概要

2015年3月期第2四半期実績ハイライト(連結)

ポイント

前年同期比では売上・利益共に前年同期を上回る。

(単位:百万円)

	2014年3月期 第2四半期		2015年3月期 第2四半期		前年同期比 増減率
売上高	21,990	100%	24,281	100%	10.4%
営業利益	※1,635	7.4%	1,951	8.0%	19.3%
経常利益	※1,811	8.2%	2,123	8.7%	17.2%
四半期純利益	※1,280	5.8%	1,398	5.8%	9.2%
設備投資	361		858		
減価償却費	393		480		
1株当り四半期純利益	※56.30円		65.00円		
R O E (%)	6.4 %	年換算	6.4%	年換算	
1株当り中間配当金	11.0円		12.0円		

※ 会計方針を変更しております。

製品別売上高の動向(連結)

概況

1. 発電機は1,531百万円(9.2%)の増加。
2. 溶接機は631百万円(26.6%)の増加。
3. コンプレッサは53百万円(11.5%)の増加。

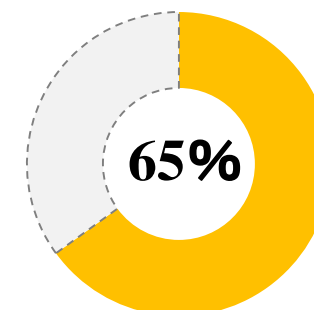
(単位:百万円)

		2014年3月期 第2四半期		2015年3月期 第2四半期		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高		21,990	100%	24,281	100%	2,291	10.4%
製品別	発電機	16,675	75.8%	18,206	75.0%	1,531	9.2%
	溶接機	2,369	10.8%	3,000	12.4%	631	26.6%
	コンプレッサ	462	2.1%	515	2.1%	53	11.5%
	その他	2,483	11.3%	2,560	10.5%	77	3.1%

エンジン発電機(連結)

	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
発電機	16,675 百万円	18,206 百万円	9.2%

- 国内は、主力のリース・レンタル業界向け出荷が増加。LPガスを燃料とする非常用発電機の出荷が減少。
- 海外は、北米及び中近東市場向け出荷が増加。



可搬式エンジン発電機の国内シェア

※当社調べによる



可搬式発電機



防災用発電機

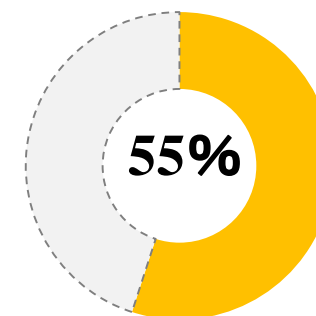
1kVAから1100kVA までのエンジン発電機を製造

- 可搬式発電機
建設現場、土木工事、災害復旧・復興などの動力源
- 非常用発電機（定置型）
防災設備やオフィスなどのバックアップ電源
- 電源車、パワーライトなど

エンジン溶接機(連結)

	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	前期同期比 増減率
溶 接 機	2,369 ^{百万円}	3,000 ^{百万円}	26.6%

- 国内は小型溶接機の出荷が増加。
- 海外は北米及びロシア向けが増加。



エンジン溶接機の国内シェア

※当社調べによる



エンジン溶接機

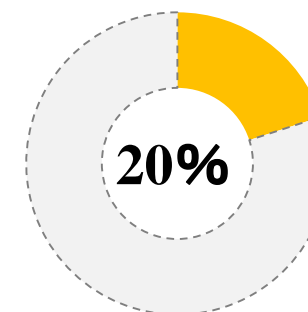
屋外作業の溶接機として当社が日本で初めて開発
軽量鉄骨溶接用の135Aから重量鉄骨溶接用の500Aエンジン溶接機、
およびTIG溶接機、CO2溶接機など

- ビルやマンション、橋梁などの鉄骨構造物の溶接
- 石油備蓄タンク、パイプラインなどの重要構造物の溶接

エンジンコンプレッサ(連結)

	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
コンプレッサ	462 百万円	515 百万円	11.5%

- 国内向けが若干増加。



エンジンコンプレッサの国内シェア

※当社調べによる



エンジンコンプレッサ



モータコンプレッサ

吐出空気量1.6m³/minから42.4m³/minまで製造

- 道路工事のはつり作業、地盤改良工事
- 山岳道路の土砂崩れ防止のモルタル吹き付け工事
- スキー場の人工降雪機用など

そ の 他(連結)

	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
そ の 他	2,483 百万円	2,560 百万円	3.1%

- 高所作業車、仕入れ商品売上が増加。

その他の売上

- 高所作業車
- 高圧水洗浄機
- 部品売上
- 中古機や仕入商品売上
- 修理売上など



高所作業車

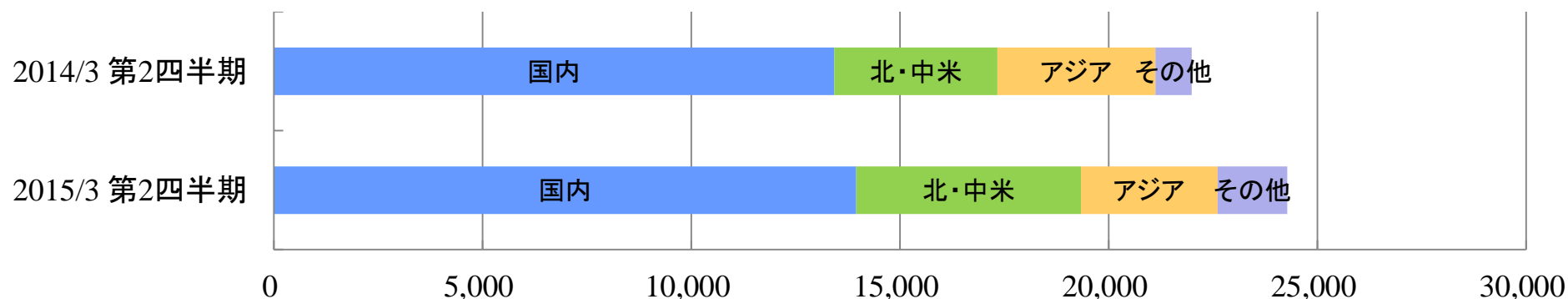


高圧水洗浄機

地域別売上高の動向(連結)

(単位:百万円)

		2014年3月期 第2四半期		2015年3月期 第2四半期		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高		21,990	100%	24,281	100%	2,291	10.4%
国内売上		13,425	61.1%	13,951	57.5%	526	3.9%
海外売上		8,562	38.9%	10,330	42.5%	1,768	20.6%
地域別	北・中米	3,912	17.8%	5,388	22.2%	1,476	37.7%
	アジア	3,784	17.2%	3,270	13.5%	△514	△13.6%
	その他	866	3.9%	1,671	6.9%	805	93.0%



営業利益増減の要因分析

営業利益増

- 海外グループ会社の利益率上昇が寄与。

(単位:百万円)

	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	前年同期比 増減
営業利益	※1,635	1,951	316
営業利益率(%)	7.4%	8.0%	0.6ポイント

	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
売上総利益率	23.9%	23.9%	0.0ポイント
売上高販管費比率	16.5%	15.9%	△0.6ポイント
売上高営業利益率	7.4%	8.0%	0.6ポイント

- 売上総利益率は、国内は高収益製品の出荷減少や原材料価格の上昇で悪化、海外はデンヨーベトナムの生産安定などで改善。
- 売上高販管費比率は、売上高増加により改善。

連結貸借対照表

概要

1. 固定資産 1,984百万円の増加は、主に投資有価証券の増加などによる。
2. 流動負債 580百万円の減少は、主に短期借入金や未払い法人税等の減少による。

(単位:百万円)

	2014年3月期 第2四半期	2014年3月期 期末	2015年3月期 第2四半期	前期末比 増減額
流動資産	36,966	※ 38,626	38,129	△497
固定資産	20,855	※ 22,891	24,875	1,984
資産合計	57,821	※ 61,518	63,004	1,486
流動負債	11,135	※ 12,837	12,257	△580
固定負債	3,511	※ 4,357	4,918	561
負債合計	14,646	※ 17,194	17,176	△18
純資産合計	43,174	※ 44,323	45,828	1,505
負債純資産合計	57,821	※ 61,518	63,004	1,486

※ 会計方針を変更しております。

連結キャッシュ・フローの推移

概要

1. 営業活動によるキャッシュ・フロー2,347百万円は、売上債権の減少などによる。
2. 現金及び現金同等物の残高は前期末に比べ16百万円増加。

(単位:百万円)

	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,732	2,347
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	71	△ 1,254
I + II フリー・キャッシュ・フロー	2,803	1,093
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 765	△ 1,000
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	141	△ 75
V 現金及び現金同等物の増減額	2,180	16
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	12,700	9,848

2015年3月期通期の見通しと 今後の経営方針

2015年3月期予想～連結損益の見通し

ポイント

1. 売上高は、510億円を予想。
2. 為替レートは100円/ドルを想定。

(単位:百万円)

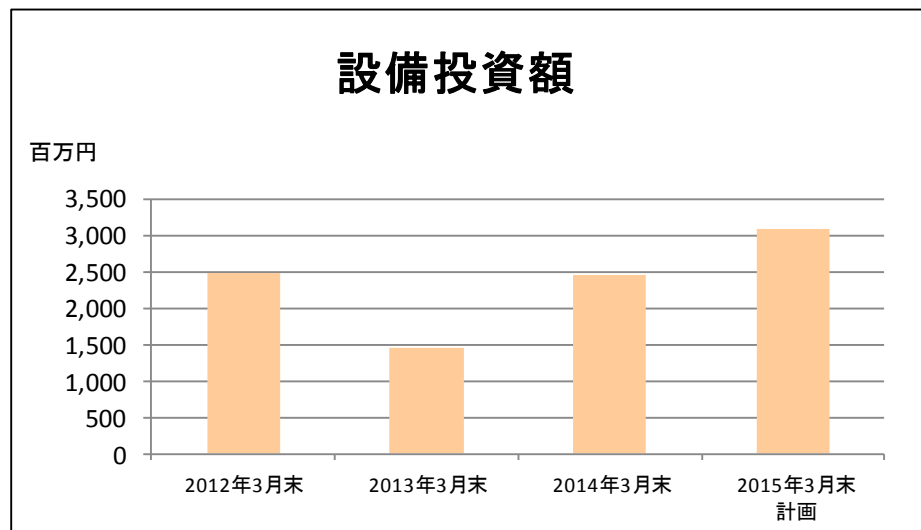
	2014年3月期		2015年3月期(予)		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高	49,832	100%	51,000	100%	1,168	2.3%
営業利益	※5,407	10.9%	5,400	10.6%	△ 7	△0.1%
経常利益	※5,723	11.5%	5,700	11.2%	△ 23	△0.4%
当期純利益	※3,726	7.5%	3,550	7.0%	△ 176	△4.7%
設備投資	2,453		3,100		647	26.4%
減価償却費	837		900		63	7.5%
1株当り当期純利益	※165.2円		165.0円		△0.2円	
R O E (%)	※9.1%		8.3%		※株主資本は前期末の金額で計算。	
1株当り配当金(円)	24.0円		24.0円			

※ 会計方針を変更しております。

設備投資額の推移

(単位:百万円)

	2012年3月末	2013年3月末	2014年3月末	2015年3月末 計画
設備費	2,480	1,457	2,453	3,100
主な用途	<ul style="list-style-type: none"> ・開発研修センター 744 ・福井事務棟、社員寮 397 ・ベトナム工場 744 	<ul style="list-style-type: none"> ・開発研修センター 814 ・福井機械等 150 ・アメリカ工場 237 ・ベトナム工場 127 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井機械等 480 ・西日本発電機 270 ・ベトナム工場 440 ・シンガポール 1100 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井機械等 370 ・西日本発電機 200 ・ベトナム工場 2000 ・シンガポール 400



デンヨーベトナム

製品別売上高の見通し(連結)

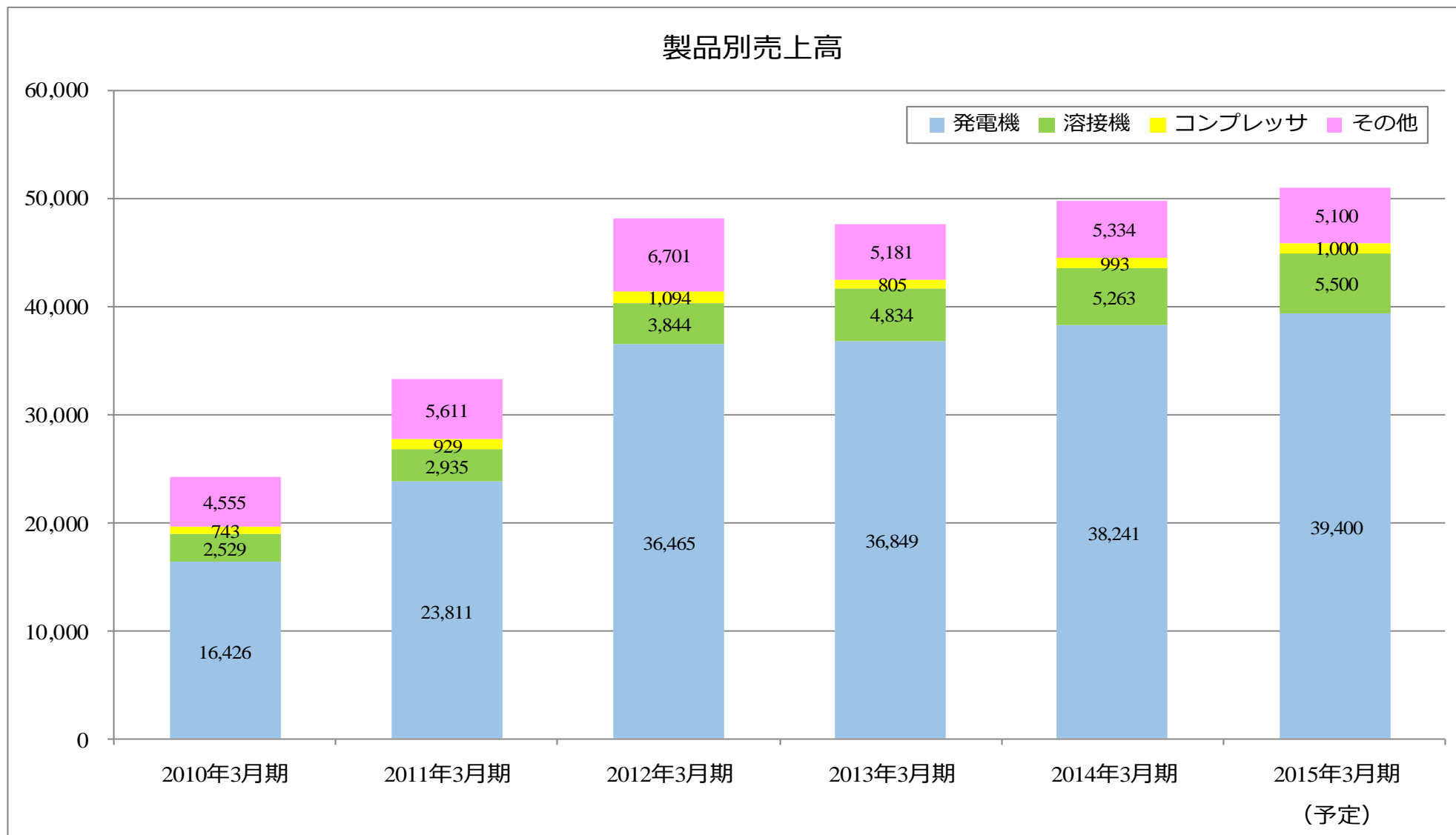
概況

1. 発電機は、1,159百万円(3.0%)の増加。
2. 溶接機は、237百万円(4.5%)の増加。
3. コンプレッサは、157百万円(0.7%)の増加。

(単位:百万円)

		2014年3月期		2015年3月期(予)		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高		49,832	100%	51,000	100%	1,168	2.3%
製品別	発電機	38,241	76.7%	39,400	77.3%	1,159	3.0%
	溶接機	5,263	10.6%	5,500	10.8%	237	4.5%
	コンプレッサ	993	2.0%	1,000	2.0%	7	0.7%
	その他	5,334	10.7%	5,100	10.0%	△ 234	△ 4.4%

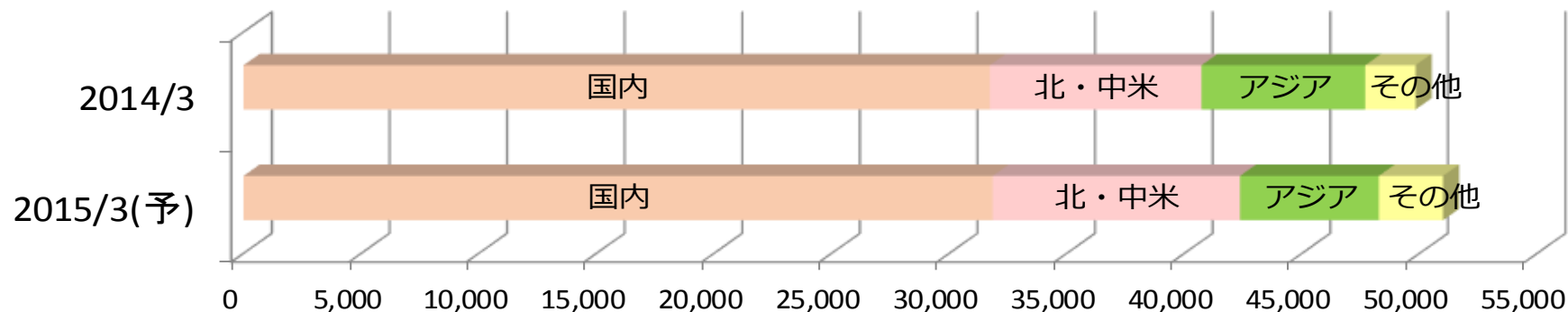
製品別売上高の推移と予想



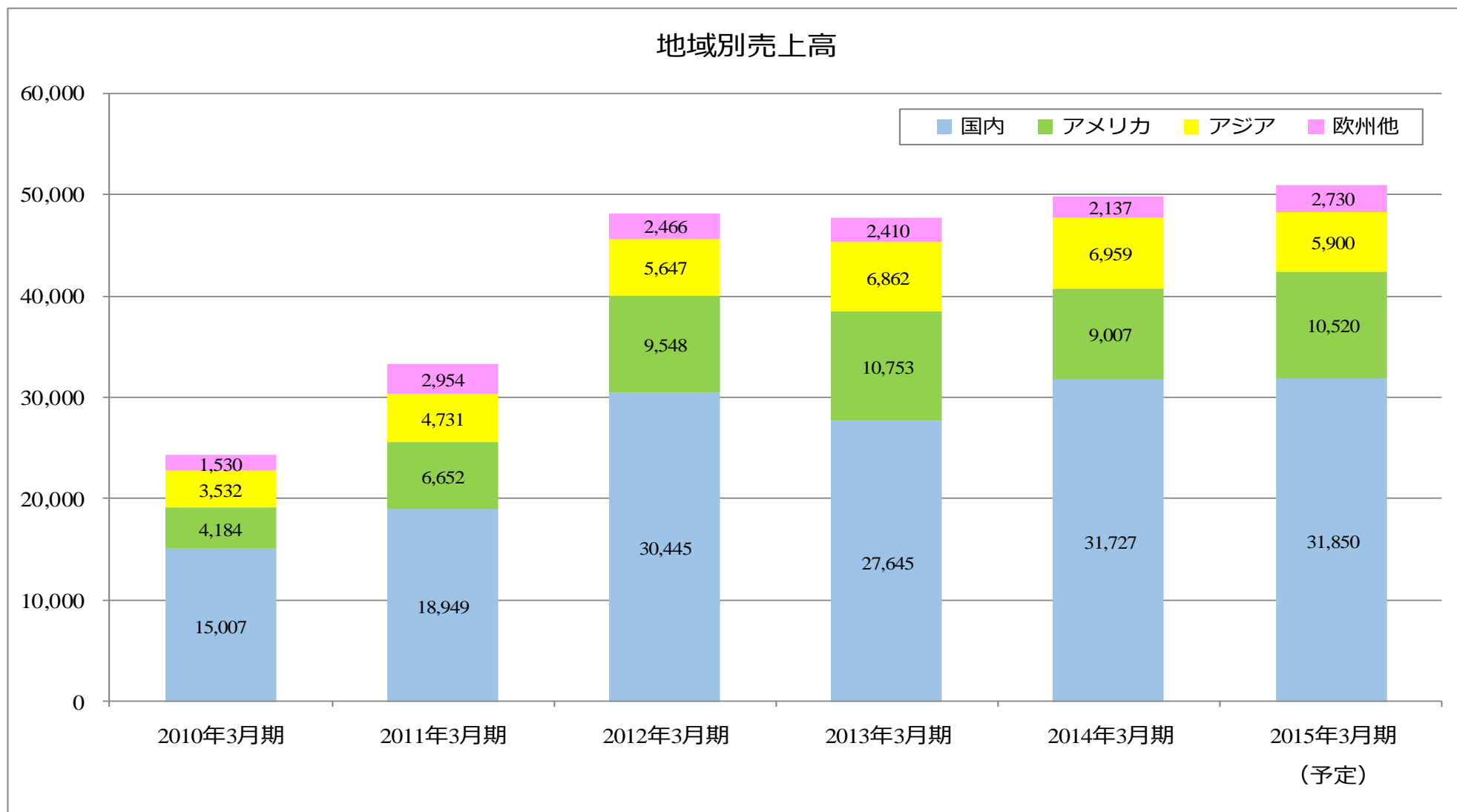
地域別売上高の見通し(連結)

(単位:百万円)

		2014年3月期		2015年3月期(予)		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高		49,832	100%	51,000	100%	1,168	2.3%
国内売上高		31,727	63.7%	31,850	62.5%	123	0.4%
海外売上高		18,104	36.3%	19,150	37.5%	1,046	5.8%
地域別	北・中米	9,007	18.1%	10,520	20.6%	1,513	16.8%
	アジア	6,959	14.0%	5,900	11.6%	△ 1,059	△ 15.2%
	その他	2,137	4.3%	2,730	5.4%	593	27.7%



地域別売上高の推移と予想



営業利益予想の内容

営業利益微減

営業利益率は0.3ポイント低下、営業利益は7百万円の減少と予想。

(単位:百万円)

	2014年3月期	2015年3月期(予)	前期比
営業利益	※ 5,407	5,400	△ 7
営業利益率(%)	※ 10.9%	10.6%	△ 0.3ポイント

	2014年3月期	2015年3月期(予)	前期比増減
売上総利益率	※ 26.0%	25.9%	△ 0.1ポイント
売上高販管費比率	※ 15.1%	15.3%	0.2ポイント
売上高営業利益率	※ 10.9%	10.6%	△ 0.3ポイント

売上総利益率、売上高販管費比率とも前期比若干悪化を見込む。

今後の経営方針

経営理念: パワーソースをテーマに安全性・経済性・環境性重視の製品造りに
徹し、「**三者の得**」を追求。
(使う人、売る人、造る人が各々利益を享受すること。)



経営戦略:

- ①パワーソースのパイオニアとして、技術力と販売のネットワークを駆使し、高性能発電機マーケットのナンバーワンを目指す。
- ②発電機の周辺事業の拡充。
- ③新規関連事業への参入。

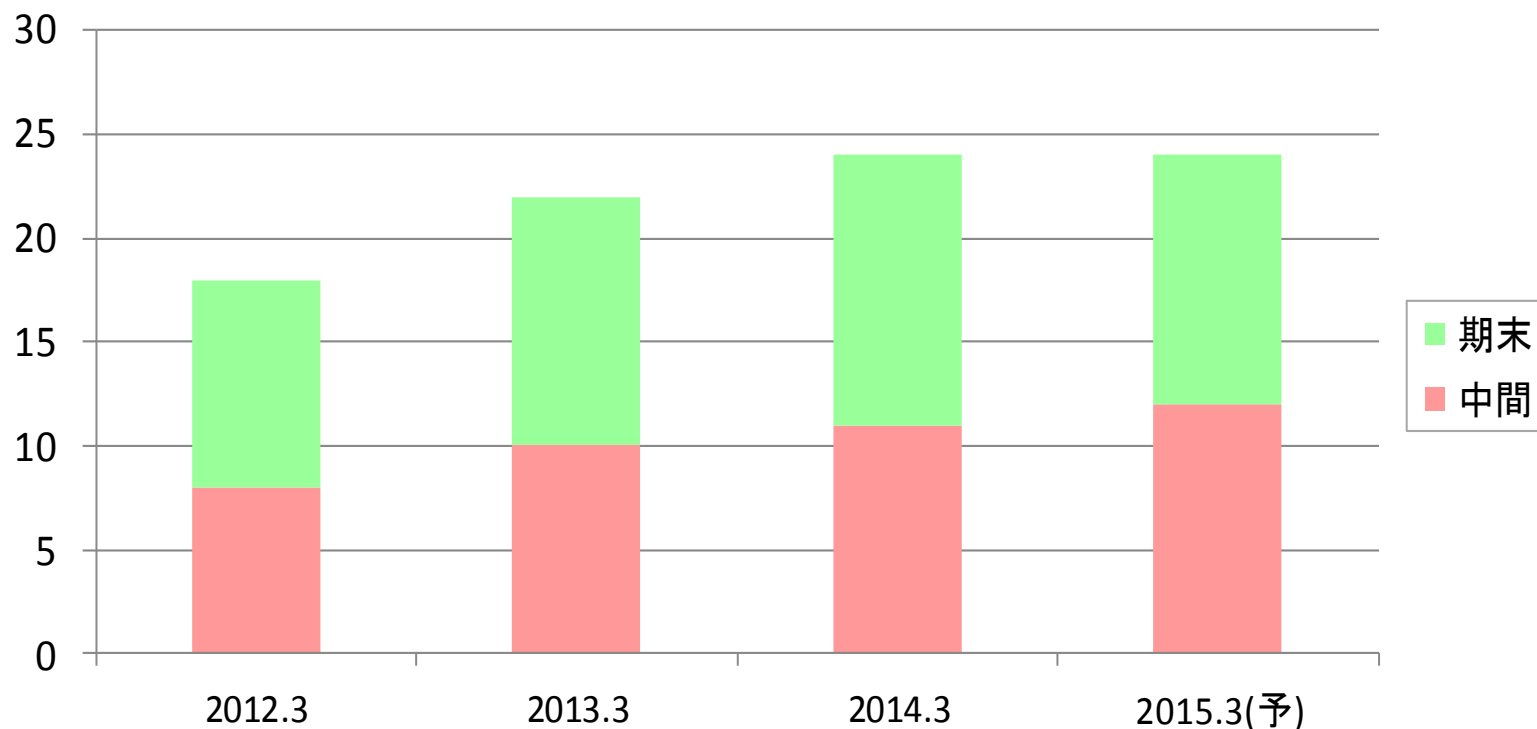
目標経営指標:

- ①ROE 8%以上 (2014.3期8.9%)
- ②売上高経常利益率 12%以上 (同 11.3%)

利益配分の方針

利益配分：収益力の向上と財務体質の強化に努めながら、株主の皆様に対する利益の還元を充実していくことが重要と認識し、業績や配当性向などを総合的に勘案した成果配分を実施

(配当金の推移 13年3月期 22円 ⇒ 14年3月期 24円 ⇒ 15年3月期 24円予想)



今後の事業戦略

ポイント

- ・ 建設関連以外の市場向け製品の拡充
- ・ 環境対応型製品の開発
- ・ 海外事業戦略の強化



エコベース発電機



極超低騒音型電源車

建設関連以外の
市場向け製品の拡充



非常用発電機事業の拡充
電源車の拡販

環境対応型製品の開発



エコベース(環境保護ベース) 標準
装備の発電機・溶接機をシリーズ化
し、環境対応へ貢献

海外事業戦略の強化



- ・ アメリカ、アジア、欧州市場の
バランスの取れた販売
- ・ 旺盛なアジア市場に対応すべく
ベトナム工場での完成品製造を計画

見通しに関する注意事項

この資料には、2014年11月21日現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予想が含まれています。
今後の経済変動、競合状況などにより、実際の業績が予測と大幅に異なる可能性があります。

あくまでも、情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。
投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。

当社のIRに関するお問い合わせ先

トザワ
経営企画室 兎沢・広井・後藤

電話：03-6861-1178

FAX：03-6861-1185

參考資料

当社の概要

エンジン発電機、エンジン溶接機など野外パワーソースのトップメーカー

沿革： 昭和23年7月2日 「日本電機溶接機材株式会社」として設立
昭和34年 我が国初のエンジン溶接機を開発、発売
昭和36年 エンジン発電機の生産、販売開始
昭和41年 防音型開発
デンヨー株式会社に社名変更
昭和58年 東証二部上場
平成12年 東証一部上場

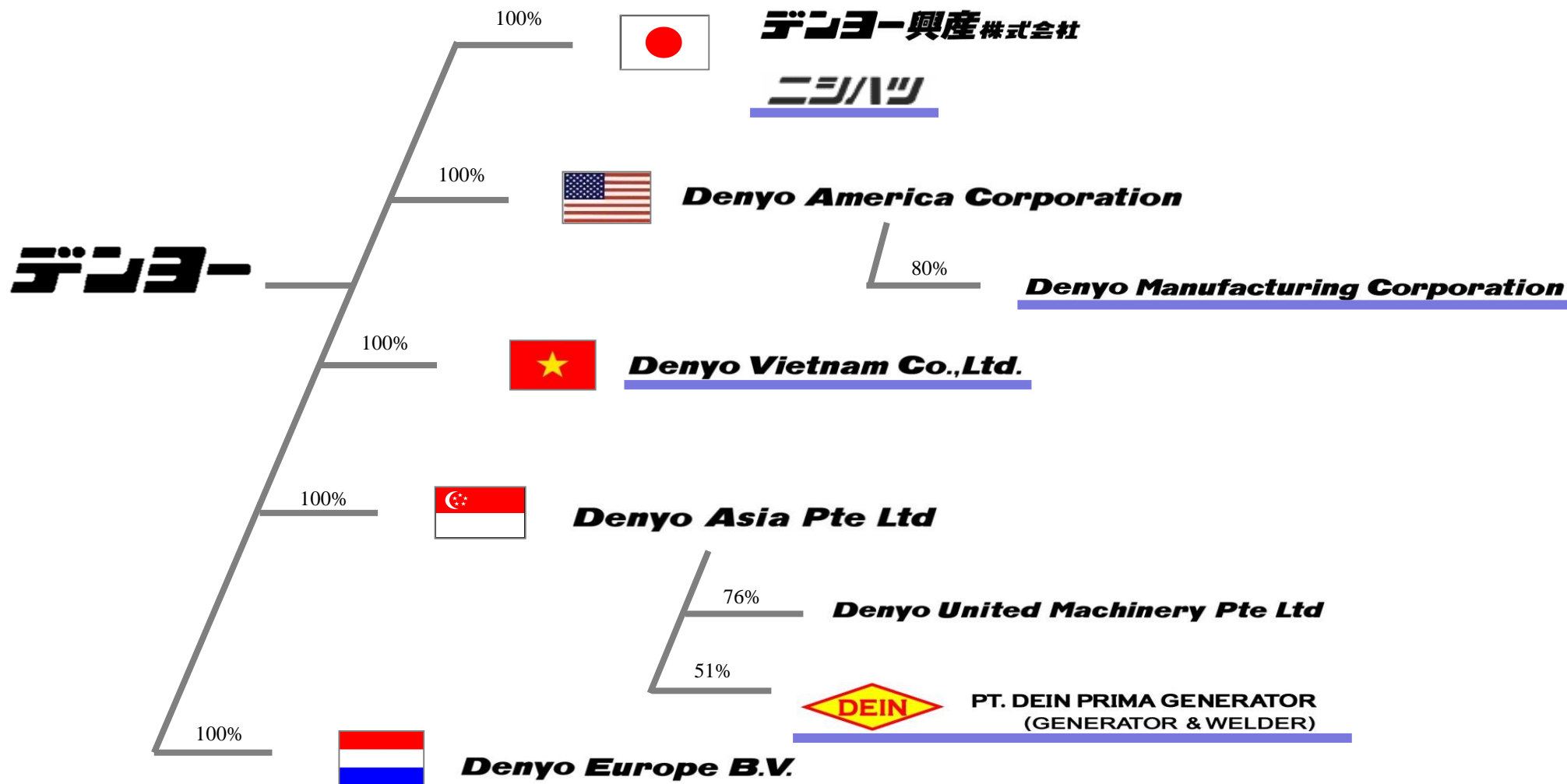
● 会社規模など（2014/3期・連結ベース）（単位：百万円）

売上高	49,832
うち海外売上高	18,104
経常利益	5,723
当期純利益	3,726
総資産	61,518
純資産	44,323
時価総額（3/31時点）	42,264
従業員数	1,056人



本社（日本橋堀留町）

グループ会社



※1.この他に持分法適用の関連会社「新日本建販株」(出資比率15.7%)があります。
2.下線の引いてある会社は製造会社となります。

過去30年間の業績の推移

